

2018年2月21日
マネーツリー株式会社

マネーツリーの金融インフラプラットフォーム「MT LINK」が GA technologiesの不動産オーナー向けアプリとAPI連携を開始

マネーツリー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：ポールチャップマン、以下「マネーツリー」）の金融インフラプラットフォーム「MT LINK」が、株式会社GA technologies [ジーエーテクノロジーズ]（代表取締役社長：樋口 龍、以下「GA technologies」）のRenosy Insight [リノシー インサイト] (ver2.0)（以下「Renosy Insight (ver2.0)」）で採用しましたことをご報告いたします。



2月21日よりMT LINKは、AIを活用した中古不動産流通プラットフォーム事業を行うGA technologiesの不動産投資家向けのサービス「Renosy Insight (ver2.0)」と連携されました。これにより「Renosy Insight (ver2.0)」にて、キャッシュフロー管理機能をご利用いただけるようになります。ご利用者はMT LINKを通じMoneytreeと連携することで、家賃の入金やローンの支払いなど月々のキャッシュフローをアプリ上で一元確認することが可能です。



< 「Renosy Insight (ver2.0)」アプリ画面 >

MT LINKは、金融インフラプラットフォームとして金融業界のみならず不動産業界でも活用されるAPIです。不動産系サービスへの導入は本件で2社目となります。昨今資産運用の選択肢として不動産投資への関心が高まる中、不動産投資家の利便性を向上させるニーズが高まりつつあります。

マネーツリーのMT LINKを不動産テック (ReTech: Real Estate Tech) の分野で活用いただくことで、従来のアパート経営のみならず、今年の新民泊法を皮切りに注目が集まることの予想される民泊物件の運用など、様々な不動産投資において必要とされる入金処理や利回りの可視化など、これまで時間を要する傾向にあった業務の効率化が可能になります。また、これから不動産投資を検討する際に必要な融資分野での活用も期待されています。

マネーツリーは、不動産投資を効率よく、かつ身近に感じるツールの開発の後押しできるよう、今後もサービスを提供して参ります。

「Renosy Insight」について

GA technologiesが提供する不動産投資家のためのアプリです。投資物件の情報収集やご提案、収支シミュレーション、所有物件の管理や月々の収支管理までこのアプリ一つで完結します。

「Renosy Insight (ver2.0)」は、既存の「Renosy Insight」アプリのアップデート版です。

マネーツリーについて

2012年に日本で起業。2013年より自動で一括管理する個人資産管理サービス「Moneytree」を提供し、AppleのBest of 2013、Best of 2014を2年連続で受賞。2015年より金融インフラプラットフォーム「MT LINK」を企業向けに開始し、業界標準の金融系APIを提供している。2017年よりオーストラリア市場でサービスを開始。設立初期より米国セールスフォース・ドットコム、SBIインベストメント、三大メガバンク系ファンド、地方銀行系ベンチャーキャピタル、海外大手運用会社から出資を受ける。お金にまつわるもっとも信頼されるプラットフォームの構築を目指す。

MT LINKについて

MT LINKは、国内2,600社以上の銀行口座(個人、法人)、クレジットカード、電子マネー、マイル・ポイントカード、証券口座の金融データをAPIとして提供。金融業界のみならず、他の領域においても新しい価値を提供する中立性の高い金融インフラプラットフォームとして認知されている。業界最高水準のセキュリティ、プライバシー、透明性をコアバリューとして評価され、現在、みずほ銀行、三井住友銀行、弥生、TKC、地方銀行、信用金庫など合計35社に提供している。

会社概要

会社名：マネーツリー株式会社
代表取締役：ポール チャップマン
資本金：13.3億円（資本準備金を含む）
設立日：2012年4月23日

本件に関するお問い合わせ

マネーツリー株式会社
広報担当 北方 薫
E-mail: press@moneytree.jp